

通算40回目の開催を迎える“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2018」

入賞作品として「TVF2018 アワード」(41作品)を決定

- 応募総数は130作品 — 小学生～90代のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 20代までの若い世代(17作品)と60代以上のシニア世代(17作品)が入賞を分け合う
- ドキュメンタリーから37作品が入賞 —まさに“ドキュメンタリーのTVF”に—
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2018 フォーラム」を開催(2/10(土)・11(日)・12(月))
～「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」を3日目に開催～

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事:小林はくどう)が主催する、今年で9回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2018」(TVF2018)には、130作品(国内:122作品/海外:8作品)が寄せられ、このたび、応募作品の中から入賞作品となる「TVF2018 アワード」の41作品を決定しました。入賞41作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述)にて決定・発表します。

今年も、入賞者とビデオファンが集う一大イベント、「TVF2018 フォーラム」を来る2018年2月10日(土)・11日(日)・12日(月)の3日間にわたって開催します(会場:武蔵大学 江古田キャンパス *一般開放・入場無料)。「TVF2018 フォーラム」では、「TVF2018 アワード」に選ばれた41作品を題材として取り上げながら、入賞者とともに来場者も交えて、会場全体で映像制作について語り合う「セッション」を行います。

「TVF2018 フォーラム」の3日目には、「ビデオ大賞」を審査委員が決定・発表する「公開審査会」を実施。また、「TVF2018 アワード」の表彰、特別賞の「TVF ジャーナリズム賞」(旧称・筑紫哲也賞)と「市民賞」の発表・表彰も行います。

また、通算40回目の開催を記念し、「TVF」の歴史をふり返るセッションを設けるとともに、「TVF」の設立・運営に尽力いただいた方々を称える「TVF 文化功労賞」の顕彰も予定しています。

■「TVF2018 フォーラム」の概要(予定)

- [日時] 2018年2月10日(土) TVF40回 記念上映会
11日(日) セッション1・2・3、「TVF2018 アワード」・特別賞表彰、交流会
12日(月) 公開審査会、ビデオ大賞表彰、セッション4(文化功労賞顕彰他)
*セッション1・2・3では、会場全体で入賞作品や映像制作について語り合います。
- [会場] 武蔵大学 江古田キャンパス
(住所:東京都練馬区豊玉上1-26-1)
- [参加費] 無料 ※交流会は有料。

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・入賞者の表彰

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表:「TVF2018 フォーラム」3日目、審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」の発表:「TVF2018 フォーラム」2日目の授賞式にて。
- ・「TVF2018 アワード」の表彰:「TVF2018 フォーラム」2日目の各セッション内にて。

「東京ビデオフェスティバル 2018」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数は 130 作品（国内：122 作品／海外：8 作品）。

【参考】海外応募の国別内訳

フランス（2 作品）、アルゼンチン（2 作品）、ポルトガル（1 作品）、香港（1 作品）、スイス（1 作品）、タイ（1 作品）

2. 応募世代

小学生～91 歳のシニア層まで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・高校生・大学生を中心とする 20 代までの若い世代が 60 作品（約 46%）で最多応募。
- ・次いで 60 代以上のシニア世代から 43 作品（約 33%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 99 作品が寄せられ、全体の約 76%。
- ・その他、ドラマ 27 作品（約 21%）、CG／アニメーション／アート 4 作品（約 3%）。

5. テーマ別傾向

- ・“戦後 70 年”を契機に、一昨年・昨年に続き、今回も「戦争」をテーマとした作品が多数。
- ・地域の文化、自然、環境等、作者が住む身近な地域に目を向けた作品。
- ・自分や家族、あるいは、ある出来事の当事者、地域と関わりの深い人物等に目を向けた作品。

「東京ビデオフェスティバル 2018」入賞作品・入賞者の傾向

1. 20 代までの若い世代と 60 代以上のシニア世代が入賞を分け合う

今回も 18～85 歳までの非常に幅広い世代が入賞しています。今回は 20 代までの若い世代（17 作品）と 60 代以上のシニア世代（17 作品）で、入賞を分け合うかたちになりました。

2. ドキュメンタリーから 37 作品が入賞、まさに“ドキュメンタリーの TVF”に

応募・入賞作品ともに、今回はまさに“ドキュメンタリーの TVF”となりました。応募全体の約 8 割を占めたドキュメンタリー作品は、秀作・良作が揃っており、37 作品が入賞しています。なお、ドラマからは 3 作品、アニメーションからは 1 作品が入賞しています。

3. “戦後 70 年”を経て、今回も「戦争」をテーマにした 10 作品が入賞

“戦後 70 年”となった一昨年を経て、前回に続き、今回も「戦争」をテーマとした作品が多く寄せられ、10 作品が入賞しました。

しかし、テーマに対する視点は世代によって異なり、シニア世代は「自身の記憶を思い出す」という視点、若者世代は「歴史・地域を見直す」という視点が傾向として見られました。また、当事者の証言や日誌等の記録を基に事実を追っていく手法が多く見られ、じっくり検証していく作品づくりへの姿勢がみられます。

4. 「地域」をテーマに、「文化」や「自然」に目を向けた 16 作品が入賞

TVF の特長のひとつである、身近な「地域」をテーマとした作品は今回、16 作品が入賞。その「地域」の伝統や文化、自然や環境等に目を向けています。

5. 近い人から、ある出来事の当事者などまで、さまざまな「人」を見つめた 15 作品が入賞

「人」を見つめた作品も良作が多く、15 作品が入賞しました。自分や家族などの近い人物から、地域と関わりの深い人物、あるいは、ある出来事の当事者等まで、さまざまな「人」にカメラを向けています。

■入賞作品の公開 (Web 配信)

- ・当法人ホームページにて入賞した 41 作品を公開中 (Web 配信)

当法人ホームページにて、入賞 41 作品の映像と作品解説を公開中です。

- ・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL

URL <http://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員 (50 音順・敬称略)

大林 宣彦 (映画作家)

小林 はくどう (ビデオ作家・成安造形大学客員教授)

佐藤 博昭 (ビデオ作家・日本工学院専門学校講師)

高畑 勲 (アニメーション映画監督)

村山匡一郎 (映画評論家)

(アドバイザー)

椎名 誠 (作家)

羽仁 進 (映画監督)

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来通算 40 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 9 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*** 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**

< 「TVF2018 アワード」 (41 作品) 一覧 >

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
1	ビバハウス ～北の町で生き直す若者たち～	北星学園大学放送研究会 ジャーナリズムチーム	—	17 : 21	北海道
2	ふる里の想いをのせて 95 年	有沢 準一	80	18 : 37	北海道
3	満州避難日記 ～309日間の逃避行～	北海道旭川工業高等学校 KBS 旭工放送局	—	19 : 59	北海道
4	ミゼット ～“こころの復興”を見つめて～	宍戸 博明	52	19 : 56	宮城県
5	男体山仙人	石川 勝	63	20 : 00	栃木県
6	3つの証明	田中 進	74	10 : 42	埼玉県
7	NOCTOVISION	加藤 秀樹	58	16 : 20	埼玉県
8	幸が来たりてなんか言う	こーきさん (埼玉県立芸術総合高等学校)	18	17 : 48	埼玉県
9	戦争遺産 熊谷陸軍飛行学校桶川分教場	NPO 法人 旧陸軍 桶川飛行学校を語り継ぐ会	—	17 : 10	埼玉県
10	森の小さなコンサート	筒井 俊明	78	15 : 10	埼玉県
11	山里に輝いて 地域は地域の子が創る	内田 一夫	80	20 : 00	埼玉県
12	甦った山車人形	永井 美千代	70	14 : 23	千葉県
13	Cで失神	平野 正和	28	10 : 03	東京都
14	ある学生の視点 車いすから見上げた世界	東京大学情報学環 メディアスタジオ実習C班	—	19 : 41	東京都
15	男のロマン ～私のこだわり～	山内 節美	70	7 : 10	東京都
16	今日もあなたと一緒に。	向島 櫻/津田 真由子/栗原 海柚 (上智大学水島ゼミ)	—	18 : 00	東京都
17	女学生と風船爆弾	広瀬愛奈恵 (中央大学 FLP 松野ゼミ)	22	19 : 33	東京都
18	ストーリー 「お父さん」と呼ばれて 相模原殺傷事件から1年	丹治重人 (毎日新聞社写真映像報道センター所属)	38	12 : 19	東京都
19	タンチョウと共に ～北海道鶴居村タンコミの挑戦～	蒲 宏樹	70	18 : 43	東京都
20	ドイツの小さな町を救った日本人医師の物語	荒川あずさ (中央大学 FLP 松野ゼミ)	23	10 : 16	東京都
21	爆弾ボートのキャッチボール	鈴木賢士	85	18 : 40	東京都

N0	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
22	ふるさと ～6年目の決断～	伊藤 怜奈 (上智大学水島ゼミ)	21	18 : 28	東京都
23	平和観音像に刻まれた遺志 ～東村山に墮ちた B29～	山田 俊輔 (中央大学 FLP 松野ゼミ)	23	10 : 10	東京都
24	真夜中のきょうしつ	松本 日菜子 (上智大学水島ゼミ)	22	16 : 30	東京都
25	Dance for All	須田 恵永 (神奈川県立相模田名高等学校)	18	3 : 18	神奈川県
26	一期一会	大隅 楠夫	74	9 : 00	神奈川県
27	百年の杜 ―生き方が語る NGO―	後藤 亮介 (法政大学松本ゼミ)	22	15 : 28	神奈川県
28	背番号 20 の君へ	林 幸司	53	8 : 10	岐阜県
29	伝統医療師 ンジコンジョ	小野 ヒロフミ	43	19 : 59	愛知県
30	大湊のおもしろプランクトン	奥野 拓也	73	19 : 30	三重県
31	井上 満 VS モール	井上 満 (成安造形大学)	28	13 : 35	滋賀県
32	君の生涯 よく頑張ってきたね	合原 一夫	84	19 : 50	大阪府
33	童話「銀河鉄道の夜」を読む	谷口 正治	67	9 : 50	兵庫県
34	原爆記者 ～いま語り部に	松田 治三	81	17 : 00	広島県
35	私は日本人です。 ～鷹一さんと二人のお婆ちゃんの場合～	広島経済大学徳永ゼミ基町班	21	20 : 00	広島県
36	Yuki	野田学園高等学校映画部	—	16 : 08	山口県
37	小山上等兵が撮った日中戦争	権藤博志	76	19 : 56	山口県
38	最終回のうた	白川東一	43	7 : 23	福岡県
39	飽くなき夢に挑む	佐藤哲郎	70	19 : 58	宮崎県
40	Landscape for a person	Florencia Levy	38	8 : 06	アルゼンチン
41	Free Meal	Tsz Sing Lee, Chester	22	14 : 32	香港

注) ・作者名敬称略。団体入賞のうち年齢表記のあるものは、代表者の年齢。

・国内・海外の順、国内は北から都道府県順、作品名の 50 音順（英数字優先）で記載。